

「フレキシブル担任制（チーム担任制）の推進」

竜南小学校

研究主題

『安全安心な「みんなの竜南笑楽校」の実現をめざして～「子どもを主語にした学校づくり」を志向したシステムの改革～』

取組の概要

竜南小では、子どもを主語にした学校のシステムを構築するため、複数の教職員で組織するチーム担任制に取り組んでいます。この取組により、子どもも教職員も「笑顔で楽しい」学校の実現を目指して研究実践を進めています。

1年生 5月から新学級スタート

義務教育のスタートにあたり、多様な表れや人間関係等を踏まえた学級編制を行うため、1年生は、4月に学級編制を行わず、通学コースをベースとした3つの集団（仮学級）で小学校生活をスタートしました。

毎日、学年全体で活動する時間を設け、1年担当と級外で学年運営を行いながら子どもたちの実態を把握し情報収集しました。

把握した情報をもとに学級編制を実施し、5月の連休明けから正式な新学級にて学校生活をスタートしました。

この取組により、教職員が複数の目で一人一人の子ども良さや課題をとらえ、互いに相談し合いながら個に応じたよりきめ細かな対応が進められています。



教科担任制・授業交換

高学年では、一部教科担任制を取り入れており、主担当以外の教員が交替で授業に入る機会が多くなっています。低・中学年においては、道徳の授業交換などを行っています。子どもたちからは、様々な教職員に話しかけたり、相談したりするなど、人間関係がより広がっている様子が見受けられます。



取組の成果

【教職員】

- ・よりベターな編制が可能となった。
- ・担当学級以外の児童への指導に抵抗がなくなった。
- ・生徒指導案件での学年内での役割分担がスムーズになった。互いに踏み込むことへの抵抗がなくなった。
- ・前期末面談の資料を、偏りなく学年で作成できる。

【児童】

- ・1年の3人の担任が4月に1年全児童の把握ができただけでなく、1年全児童も3人全員を担任と認識した。
- ・担任交換への抵抗がなくなってきている。
- ・困り感を抱えた児童が担当以外の教諭へも話ができるようになった。自学級以外でクールダウンする子も出てきている。